



新大分土地代表取締役社長

阿南 勝啓氏

人とまちの夢を開発

「ひと（お客様）とまち（地域）の夢を開発する企業を目指していきたい」。昨年の9月末、父の清信氏（現・会長）の後を継いで新大分土地の5代目社長に就任した。13年間、九州の大手不動産デベロッパー「福岡地所（株）」に勤め、ホテル海の中道やベイサイドプレイス博多埠頭などの開発に携わった。

「福岡地所では、年齢や役職に関係なく、自分が担当者として何をしたいのか」ということを絶えず聞かれてきた。企画や提案をどんどん求められ、そ

の経験は大きな力となっている。それをこれから生み育つた大好きな大分の地で生かしていきたい。意欲に燃える39歳。新大分土地は今年創立62年。県内の不動産業界では一、二の歴史を誇る。不動産の賃貸を中心とした建設・建設など時代を先取りした都市開発を行ってきた。

長引く不況に加え、社会における経済システムが大きく変化していく中で、これからは老舗やのれんといった価値観だけでは通用しない厳しい時代となる。しかし、



新大分土地の本社ビル

「わが社が21世紀に向け、地域として存続、発展していくため、あえて62年間の『老舗・のれん』という

また「のれん」とは、社名のとおり不動産を通じて「新しい大分のまちを創造し、地域に新しい生活を提案していく姿勢」である。貸オフィスビルの建設賃貸、住宅地の造成分譲、有料駐車場の経営をはじめ、当社の残してきた実績につながる。

「62の間、諸先輩が築いてきた信用と姿勢を今後も継承しながら、新大分土地は21世紀に向けて『夢（Dream）』という言葉をキーワードに人とまちに夢を与えていく会社づくりをしていきたい」。

阿南社長の言う「老舗」とは、「地域における信用」を意味する。今まで責任と誠意を持って接して

きた顧客からの信頼を会社の財産そのものと考え、さらなるサービスが提案できればと考えている。

また「のれん」とは、社名のとおり不動産を通じて「新しい大分のまちを創造し、地域に新しい生活を提案していく姿勢」である。貸オフィスビルの建

設賃貸、住宅地の造成分譲、有料駐車場の経営をはじめ、当社の残してきた実績につながる。

「62の間、諸先輩が築いてきた信用と姿勢を今後も継承しながら、新大分土地は21世紀に向けて『夢（Dream）』といふ言葉をキーワードに人とまちに夢を与えていく会社づくりをしていきたい」。

自らの会社を「Dreams Developement（夢の開発社）」と呼ぶように、社長自身大分の不動産を求めるお客様はみんな夢を持っている。

就職、結婚に伴い新居での新しい生活や、新規商売や事業の開業など。その夢づくりをお手伝いできることこそが、この仕事の大きな魅力。

新大分土地 株式会社

大分市中央町1丁目5番25号
新大分ビル4F
TEL(097)534-3371